

2020年5月15日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 山岡 暁

シエラレオネ国パイナップル生産・加工事業
(海外投融資)
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年5月1日(月) 14:00~18:17
- ・場所：Skype 会議
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、鈴木委員、田辺委員、山岡委員、米田委員
(福嶋委員はメール審議にて参加)
- ・議題：シエラレオネ国パイナップル生産・加工事業(海外投融資)に係る環境レビュー方針についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【環境レビュー方針】シエラレオネ国パイナップル生産・加工事業(海外投融資)
 - 2) 11_Sierra_Leone_Pineapple_ESIA_Report
 - 3) 12_Sierra_Leone_Pineapple_ESMP
 - 4) 13_Sierra_Leone_Pineapple_MSDS_Sheet
 - 5) 14_Sierra_Leone_Pineapple_PCDP_Workshop_Report_woPrivateInfo
 - 6) 15_Sierra_Leone_Pineapple_ESIA_Addendum_woPrivateInfo
 - 7) 16_Sierra_Leone_Pineapple_ESMP_Addendum
 - 8) 17_Sierra_Leone_Pineapple_PCDP_Workshop2_Report_woPrivateInfo
 - 9) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第113回委員会)

- ・日時：2020年5月15日(金) 14:00~17:15
- ・場所：Skype 会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. Community Development Action Plan (CDAP) の資金面の分担及び運用方針を確認すること。

代替案の検討

2. 加工工場のサイトの選定は技術的・経済的な検討が主になっているが、環境社会面の具体的な配慮について Sierra Tropical Limited (以下、「STL」) に確認すること。

スコーピング・マトリックス

3. STL に対して地元民のこれまでの雇用状況及び今後の雇用人数の計画を確認すること。

環境配慮

4. 策定が予定されている Biodiversity Evaluation & Monitoring Plan (BMEP) を含む Biodiversity Action Plan (BAP) において、供用中の生態系のモニタリングも実施するように STL に対して要求すること。
5. 文化及び生態系に配慮したセンシティブ・サイト、バッファーズーンの考え方を確認すること。また、野生動物による食害発生の可能性及び新たな人間と野生動物の軋轢を生じさせないような対策についても確認すること。さらに追加調査の結果に基づき、必要に応じてバッファーズーンの追加等、見直しを行うよう STL に申し入れること。
6. IFC と STL が実施予定の追加調査に基づき、貴重種にとって重要な自然生息地かどうか確認すること。
7. 生態系の追加調査チームには調査経験が豊富で、確実に目的を遂行できると期待される専門家が加わっていることを IFC と STL に確認すること。
8. 農薬の使用による生態系への影響と、事業による動植物の生息域への影響が十分に把握されていることを確認し、且つ適切な緩和策が取られることを確認すること。

社会配慮

9. 労働に関する IFC PS2 (Performance Standard 2) との乖離がないことを確認すること。
10. 既存のパイナップル農家や流通業者への負の影響を環境レビューにおいて確認すること。
11. 将来的には周辺農家で栽培されたパイナップルも調達する場合は、周辺農家にとって不公正な契約が結ばれることがないように、契約条件を確認すること。

12. IFC に対して、河川漁業、土地なし農民、土地所有者へのアンケート調査には入らなかった農民への影響の確認状況を把握すること。その上で、緩和策の必要性が認められる場合は、適切な緩和策の実施を STL に申し入れること。
13. 農薬管理計画について、農薬を使用する STL の労働者及び近隣のコミュニティへの影響が生じないように配慮がなされていることを確認すること。

以 上